

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 5一般管理費

◎秘書事務の経費

秘書・式典事務

秘書課

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 理事者等

意図 理事者の日々の活動をサポートするとともに、市政の振興に功労のあった者の榮譽をたたえるため。

効果 理事者の日程管理及び交際を円滑に進めるとともに、市政の振興に功労のあった者の榮譽をたたえることにより市の発展に資する。

【事業の内容】

(1) 秘書事務

- ・ 理事者の日程管理及びその交際に係る管理業務を行った。

(2) 市政功労者表彰・頌徳会・名誉市民事業

- ・ 市政功労者の表彰に係る選定及び祝賀会、市・鎌倉商工会議所・鎌倉市観光協会で開催する実行委員会による新春のつどい、頌徳会総会、名誉市民選考委員会の開催、並びに名誉市民の功績を顕彰する事業を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,018	36,018	31,326		4,692
主な支出内訳				
・ 秘書事務				
来客贈呈用記念品購入費				215
市長賞副賞カップ購入費				133
秘書システムメンテナンス業務委託料				290
自動車借料及び電子複写機等賃借料				2,391
全国市長会負担金				837
全国市長会関東支部負担金				40
神奈川県市長会負担金				663
神奈川県都市副市長会負担金				20
市・市長交際費				668
副市長交際費				3
・ 市政功労者表彰・頌徳会・名誉市民事業				
市政功労者表彰記念品購入費				967
市政功労者表彰式祝賀会実施委託料				600
頌徳会新入会員記念品購入費				323
頌徳会総会実施委託料				702
新春のつどい負担金				950
名誉市民選考委員会委員謝礼 9人				83
名誉市民展レセプション(吉田秀和氏)実施委託料				720
名誉市民展(蓮田修吾郎氏)実施委託料				8,775
名誉市民展(平山郁夫氏)実施委託料				8,382
名誉市民展等(蓮田修吾郎氏、平山郁夫氏)会場使用料(鎌倉芸術館)				2,012

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・名誉市民選考委員会において、名誉市民の選考基準を定める必要があるかを検討する必要がある。 ・平成19年に名誉市民の称号を贈呈した3氏について、「その功績と栄誉をたたえる相当の礼」として、(仮称)名誉市民展を開催する必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平成20年7月31日に第1回鎌倉市名誉市民選考委員会を開催し、平成19年度の選考委員会で検討課題となっていた名誉市民の選考基準について審議した結果、細部にわたっての選考基準を明確にすると大きな制約となるため、新たな基準は策定せず、現行規定を基本としながら弾力的に運用していくことが確認された。 ・平成19年度に名誉市民の称号を贈呈した3氏の功績を顕彰するため、名誉市民展及び記念レセプションを開催した。 ・スライド勤務を積極的に導入し、超過勤務の削減を図った。 ・平成20年度も会費を5,000円を限度とし、交際費の支出抑制を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・平成20年度の名誉市民選考委員会において、市民栄誉賞の創設について話題となったため、検討していく必要がある。 ・平成21年度は市制施行70周年の節目の年にあたるため、記念事業やレセプションの実施を検討する必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・市民栄誉賞の創設については、他市の状況も参考しながら、具体的に検討を進めていく。 ・市制施行70周年記念事業については、文化推進課と連携を図りながら記念事業の詳細を検討していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性
	有 交際費や超過勤務手当等の人件費の支出については、今後とも精査を続けていく。また、新春のつどいや市政の発展に功労のあった者に対する表彰については、経費の節減を図るとともに、参加者の増や積極的な表彰を心掛けていく。名誉市民については、名誉市民選考委員会の開催など、名誉市民選考に必要な諸手続きを進めていく。市民栄誉賞については、創設に向け、具体的な検討を進めていく。市制施行70周年記念事業については、記念事業の実施に向け、具体的な検討を進める。		
担当課長氏名:		秘書課長 三留 定男	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性
	有 事業の効率化については、経費節減を含め、今後も推進していく。また、新春のつどいについては参加者の増を図り、表彰については、市民の励みとなるよう積極的に表彰していく。名誉市民については、名誉市民選考委員会を継続的に開催し、必要な諸手続きを進めていく。市民栄誉賞については、創設に向け具体的な検討を進める。市制施行70周年記念事業については、文化推進課と連携を図り、実施に向け検討を進める。		
担当部名	経営企画部	部長名	小村 亮一